



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施（令和3年2月中）

島田、沼津、菊川、浜松東、浜北、藤枝、浜松中央の各地区安全運転管理協会は、それぞれの地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この2月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、今後の対策を協議しました。

【島田地区】

2月9日(火)、島田警察署、島田市役所、島田土木事務所、安協島田地区支部、自治会等の関係機関・団体とともに、島田地区安全運転管理協会から会長を始め5人が参加し、合計20人により

1月18日(月)の夜間、島田市河原地先の主要地方道で発生した交通死亡事故（軽四乗用車と歩行者との衝突事故、歩行中の74歳女性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場はほぼ直線の道路ですが、街路灯がないため夜間は暗闇となる状態で、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 夜間における歩行者の安全確保のため、街路灯の設置を検討する
- 各団体で、ドライバーに対する安全運転の徹底と、歩行者に対して夜間における反射材着用促進等の広報活動を推進する

など交通死亡事故の再発防止対策に関する意見が出され、今後の交通安全活動に反映させることとしました。



【島田署交通課員の説明】



【現場診断のようす】

【沼津地区】 2 件

1 件 目

2月3日(水)、沼津警察署の呼掛けで、沼津市役所、県土木事務所、安協沼津地区支部、老人会等関係機関・団体とともに、沼津地区安全運転管理協会から会長と事務局長が参加し、合計27人により、

1月25日(月)深夜、沼津市東椎路地先の主要地方道で発生した交通死亡事故(普通乗用車と歩行者との衝突事故、歩行中の73歳男性が死亡)

の事故現場診断を行いました。

事故現場は、車のすれ違いにも注意を要する狭い直線道路で、街路灯がないため夜間も暗闇となる状態で、現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 路側帯標示が見えにくいため、外側線を引き直し、車の安全走行を促す
- 夜間における歩行者の安全確保のため、自治会から街路灯設置を要請する
- 各団体において、歩行者の夜間における反射材活用等の広報を推進する

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故現場の見通し状況】



【現場診断】



【再発防止対策を協議】

【沼津地区】 2件

2 件 目

2月18日(木)、沼津警察署の呼掛けで、沼津市役所、県土木事務所、安協沼津地区支部、自治会等関係機関・団体とともに、沼津地区安全運転管理協会から事務局長が参加し、合計13人により、

2月10日(水)の夜間、沼津市一本松地先の県道で発生した交通死亡事故(普通乗用車とバイクとの衝突事故、バイク運転中の23歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

事故現場は見通しの良い直線道路となっておりますが、街路灯がないため夜間の光源は走行車両のライトのみの状態で、参加者らによる現場診断及び今後の事故防止対策を協議した結果、

- 各団体において、他の車両等に対する安全確認、さらに速度を控えめに
して安全運転を徹底するよう広報啓発活動を推進する
- 安全運転管理者選任事業所に対する訪問指導を実施して、従業員に対す
る交通安全教養を推進する

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故現場診断】



【事故防止対策を協議】

【菊川地区】

2月17日(水)、菊川警察署の呼掛けで、菊川市役所、道路管理者、安協菊川地区支部等の関係団体とともに、菊川地区安全運転管理協会から事務局長及び今年度安管推進事業所である「日本特殊塗料(株)静岡工場」の安全運転管理者等4人が参加し、計16人により

1月27日(水)の早朝、菊川市牛淵地先の市道で発生した交通死亡事故(軽四乗用車が道路から逸脱して河川に転落した単独事故、59歳男性が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、緩やかなS字カーブの下り坂で、坂を下りきったところで道路右側に逸脱して河川に転落した事故であり、事故現場診断の参加者から

- カーブ予告や速度抑制を注意喚起する標示や看板設置を検討する
- 幹線道路の抜け道に利用されるため、この機会に安管選任事業所従業員に対する安全運転教養を推進する

など、事故防止対策について意見が出されました。



【事故現場診断】



【再発防止対策を協議】

【浜松東地区】

2月17日（水）、浜松東警察署の呼掛けで、浜松市南区役所、交通安全協会浜松東地区支部、地元自治会等の関係団体とともに、浜松東地区安全運転管理協会から事務局員と現場付近の会員事業所の安全運転管理者等7人が参加し、合計約40人により、

2月9日（火）の早朝、浜松市南区遠州浜地先の市道で発生した交通死亡事故（普通乗用車と道路横断中の歩行者との衝突事故、歩行者の79歳男性が死亡）に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、信号機のない十字路交差点で、普通乗用車の進行方向の右側から横断してきた歩行者と衝突しており、事故現場診断の参加者から

- 通行車両と歩行者の双方に対する「横断注意」の看板設置を検討する
- 各団体により、ドライバーに対する安全走行の徹底、歩行者に対して道路横断する際の安全確認の徹底など、広報啓発活動を推進する

など、事故防止対策について意見が出されました。



【事故現場診断のようす】

【 浜北地区 】

2月19日（金）、浜北警察署の呼掛けで、浜松市、浜北区役所、交通安全協会浜北地区支部、地元自治会等の関係団体とともに、浜北地区安全運転管理協会から事務局長と本年度安全運転管理推進事業所である「エンシュウ(株)浜北工場」安全運転管理者等2人が参加し、合計23人により、

2月6日（土）の午前、浜松市浜北区宮口地先の県道で発生した交通死亡事故（準中型トラックと大型バイクの衝突事故、大型バイクの24歳男性が死亡）に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、大型バイクの進行方向から見て緩い左カーブとなっており、事故現場診断の参加者から

- 道路脇の草木が茂ると見通しが悪くなるため、草木の整備を要請する
- カーブ付近のカーブミラーが少し汚れているため、整備を要請する
- 各団体で、ドライバーに対する安全走行の徹底等広報活動を推進するなど、事故防止対策について意見が出されました。



【事故現場診断のようす】



【再発防止対策を協議】

【藤枝地区】

2月22日(月)、藤枝警察署の呼掛けで、藤枝市役所、交通安全協会藤枝地区支部、道路管理者、地元自治会等の関係団体とともに、藤枝地区安全運転管理協会から会長、事務局長と本年度安全運転管理推進事業所である「(株)村上開明堂」及び「藤枝市社会福祉協議会」の安全運転管理者等3人が参加し、合計16人により、

2月14日(日)午後、藤枝市瀬戸ノ谷地先の主要地方道で発生した交通死亡事故(普通乗用車が道路を逸脱してブロック塀と衝突した単独事故、59歳男性が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は、車の進行方向から見て緩い左カーブとなっており、事故現場診断の参加者から

- 路側帯標示が見えにくいため、外側線を引き直し、車の安全走行を促す
- カーブ部分にガードレールやポール、カーブ予告の看板等の設置を検討する
- 各団体で、ドライバーに対する安全走行の徹底等広報啓発活動を推進するなど、事故防止対策について意見が出されました。



【藤枝署交通課員による状況説明】



【事故現場の見通し】



【事故現場診断のようす】



【再発防止対策を協議】

【浜松中央地区】

2月25日(木)、浜松中央警察署の呼掛けで、浜松市役所、交通安全協会浜松中央地区支部等の関係団体とともに、浜松中央地区安全運転管理協会から事務局員が参加し、合計20人により

2月15日(月)午前、浜松市中区佐鳴台地先の市道で発生した交通死亡事故(軽トラックが道路脇の街路樹に衝突した単独事故、運転の91歳男性が死亡)に対する事故現場診断を行いました。

この事故現場は片側2車線の直線道路で、道路を逸脱して歩道の街路樹に衝突しており、事故現場診断の参加者から

○ センターラインや外側線が薄くなっており、通行車両の安全走行を促すため、道路標示の引き直しを検討する

○ 各団体で、ドライバーに対する安全走行の徹底等広報活動を推進するなど、事故防止対策について意見が出されました。



【浜松中央署交通課員による状況説明】



【事故現場の見通し】



【事故現場診断】



【再発防止対策を協議】